

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 12 月 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501349		
法人名	医療法人社団 光誠会		
事業所名	グループホーム サンハートホーム		
所在地	東広島市福富町久芳3694-13 (電話) 082-430-1321		
自己評価作成日	平成22年12月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3472501349&SCD=320
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成22年12月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>地域密着型を活かして、地域の方がいつでも気軽に寄れる施設でありたい。入居者の明るい笑顔</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>・ホームの近くには道の駅や湖があり、自然が豊かな環境に囲まれている。各居室には洗面所を設置し、生活空間は広く明るい家庭的な雰囲気となっており、入居者一人ひとりの思いや個性を感じ取り、その人らしい自立した尊厳ある日常生活ができるよう支援をしており、職員との信頼関係を築いている。</p> <p>・一日の水分摂取や散歩などの屋外への外出に力を入れるとともに、ケアサービスについては職員同士で意見を出し合い、必要な申し送りをきっちりと文書や口頭で伝え、良い介護ができるようチームづくりに努めている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を常に意識して、個別ケアに努め、入居者の明るい笑顔が見られるように努めています。	地域密着型サービスとしての入居者本位を基本とした、暮らしを支える理念がある。職員は理念を念頭に置き、入居者一人ひとりの意向を大切に、日々の支援に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事等に参加し、交流をはかっています。	地域の行事などに積極的に参加したり、日常的に散歩や買物にでかけながら、地域の方と自然な関係で交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	職員個人として、地域で高齢者と交流し、時には相談に乗ったりしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	避難訓練の誘導の仕方等に対する意見が、入居者の家族から出され、利用者の安全を、より図りたいと思います。	事業所からの報告とともに、参加者から意見や質問が出され、双方向的な会議となっている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	ケア会議等の参加や、市町担当者に相談や情報収集等、積極的に取り組んでいます。	市主催の研修会に参加したり、事業所から介護事業についての相談会の情報や事故報告を行うなど、日頃から情報の共有や連絡を緊密に取り合いながら、協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>入居者の安全を優先して、やむを得ず、玄関に掛けているが家族の了解のもとで、行っている。</p>	<p>高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会を通じて、職員の共通認識を図っている。外出傾向の入居者の把握もできており、見守り、さりげない声かけなどを行いながら、安全面に配慮して自由な暮らしを支えている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>言葉の掛け方等、虐待に繋がらないように入居者の対応に気を付けています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修で学んだが、必要があれば、活用するようにしたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者や家族の方に、理解・納得いただくように説明しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>いつでも、意見、不満、苦情が言えるように対応し、又、苦情窓口も設置しています。</p>	<p>家族の面会も多く、日頃から意見、苦情などを職員に伝えやすい関係を築いている。出された意見等はミーティング等で検討し、改善に向けて取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回、職員会議を開催し、意見を出し合っています。	毎月の職員会議で運営について話し合ったり、管理者は日頃から職員の意見や提案を聞くなどしており、一緒に話し合いながら調整をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	勤務態度、介護状況を把握、声掛け、激励をするようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	講習会等への参加を勧めている。受講後は皆が情報を共有するようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	特養への訪問を行い、交流を重ねている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人の困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け、本人が安心して、暮らしていけるよう、関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族ともよく話し合い、安心していただけるよう、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時に、他のサービス利用等の紹介も勧めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活のなかで、入居者から学ぶこともあり、感謝の気持ちも伝えていきます。また、入居者の尊厳を大切にする言動にも注意しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居者の状況、変化等、常に報告をし、いつでも入居者や、家族が身近に感じられるような関係を支えて行きたい。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	開放的に来客を受け入れています。	入居者一人ひとりが地域や地域住民との関係を継続できるように、できるだけ地域との接点を持ちながら、関係を継続させるための支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の時の座る位置等の配慮をしています。居間・食堂で、できるだけ一緒に過ごしてもらい、利用者同士が交流できるようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	連絡をするようにしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は入居者とのコミュニケーションや、表情・行動から思いや希望・意向を把握するように努めています。	入居者とのコミュニケーションを大切にし、毎日の関わりの中で言葉や表情から個別のニーズをとらえたり、家族から情報を得るなど、常に希望や意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族や以前、利用されていた事業所等に、聞き取りをしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	1日2回の申し送り、引継ぎの際に職員で情報を共有し把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>必要に応じ、話し合いを設け、月1回の職員会議で話し合い、介護計画を立てています。</p>	<p>入居者や家族の意向を踏まえて、月1回のモニタリングとカンファレンスを行い、介護計画を作成している。また、入居者の状況の変化に応じて、その都度見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の変化、体調の変化等を記録し、介護計画をたてています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者が希望されたとき、近隣の美容院へ職員が同行して支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>月1回以上のボランティアさんの受け入れを行っており、歌・絵本の読み聞かせ等により、日々の暮らしに変化をつけていただいています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関・医師に受診できるよう支援しています。</p>	<p>入居者や家族の希望するかかりつけ医は、基本的には家族同行の受診となっているが、家族の都合により職員が代行する場面がある。受診結果については、家族や職員からの連絡を受けて、共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	受診時、指示を仰いだり、電話で相談したりしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時、安心して治療に専念できるように、居室を短期利用に使用したり、病院との情報交換や相談に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	早い段階から話し合いを設け、関係者全体の方針を共有し、支援に取り組んでいます。	入居時に重度化した場合の対応について、指針に沿って説明している。入居者の状況に応じて、家族等の希望に沿って医療関係者と連携して支援ができる体制が整っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救命講習・心肺蘇生法等を受講し、急変に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回地域住民の参加・協力を得ながら、避難訓練を実施しています。火災訓練や災害対策の講習を受講した後、職員で話し合い、ホーム内に水の入ったバケツや、懐中電灯等を設置しています。	年2回、地域住民の参加・協力を得ながら、避難訓練を実施している。マニュアルを作成し、避難訓練等の講習受講後にはミーティング等で話し合い、現状の確認と、情報の共有を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は入居者のプライドを大事にし、プライバシーを損なわないよう言葉掛けや対応に注意しています。特に、排泄や失禁の介助の時、他の入居者の目に注意しながら支援しています。	個人情報やプライバシーの確保を徹底しており、トイレ誘導や入浴など日々の声かけについても、職員同士がお互いに気をつけ合って取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションを通じ、ゆっくり何度も説明や了解を得るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日の時間の流れは、入居者のペースや希望に合わせて、ゆっくりするようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族と相談し、了解のもとで地域の近隣の美容院を利用しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員も一緒に食事を摂り、明るく楽しい食事に心がけ、個々の好みも取り入れるようにしています。	食事の準備や片付けは、入居者の思いや能力に応じて職員と一緒にやるなど、アットホームな雰囲気の中で、入居者と職員は同じものを食べながら楽しく食事をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量は確認し、記録に残しています。入居者一人一人の体調や習慣に応じて、刻んだり、小さくほぐしたりして食べ易さを工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	一人一人の方の状態に合わせ、口腔ケアの介助、声掛け、見守りを食事摂取後、行い、チェックシートに記入しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	利用者の状態に応じて、時間やしぐさを見て、トイレ誘導をしています。	排泄パターンを把握し、時間誘導も含め、個々の入居者の状態に応じた支援をしている。また、羞恥心や不安への配慮を軽減するための配慮がなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取量の記録、排便・排尿の回数等に注意しています。便秘の方には、水分補給や薬の服薬介助をするなどの対応を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴時間は、決まった時間でしかできないので、一人一人の入浴時間をゆったりととり、楽しんでいただけるようにしています。	本人のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員のローテーションの工夫を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	昼食後の昼寝、休息、夕食後は それぞれの方に合わせています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬の変更・症状の変化等を、申 し送り、記録し、情報の共有を しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	ボランティアさんと歌を歌ったり 、ドライブで気分転換をはかる等 しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	周辺の散歩やドライブ、地域の 行事への参加等、気分転換をは かっています。	入居者の希望に沿ってドライブ や買物、散歩に出かけるなど、 できるだけ外気に触れる機会を 持つようにし、入居者に満足し てもらえるよう、外出支援に努 めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	家族と相談の上で、支援してい ます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話かけたり、手紙を出されたりするのを支援しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関周りや、居間のテーブルに季節の花を飾り、温かく、くつろげる雰囲気づくりをしています。畳の部屋もあり、自由に過ごせるようになっています。冬には、こたつで暖まれます。	昼間は明るく、ゆったりとしたスペースがあり、入居者が居心地よく過ごせるよう、椅子や机の配置に工夫している。トイレや風呂場も掃除が行き届き清潔感がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	サンルームや和室等で、ゆったりと過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室に、入居者が使い慣れた日用品や身の回りの物を持ち込まれ、居心地よく過ごせるよう工夫しています。	馴染みのダンス、テレビ、写真など、入居者がこれまで大切にしてきた身の回りの品々を置き、入居者が落ち着いて過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物全体がバリアフリー構造で、手摺りも随所に設置しています。		

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームサンハートホーム

作成日 平成 23 年 3 月 25 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議出席者の固定化	地域資源の見直しを行う	地域資源の見直しを行なうとともに、全職員で運営推進会議の意義を検討する	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。